



2024-25 年度テーマ



第2670地区 宿毛ロータリークラブ会報

| | |
|-----------|-------------------|
| ■会長 | 池 和明 |
| ■直前会長 | 岡崎 利久 |
| ■幹事 | 竹田 米廣 |
| ■クラブ奉仕委員長 | 西岡 弘徳 |
| ■職業奉仕委員長 | 有田 裕彦 |
| ■社会奉仕委員長 | 保田 孝司 (青少年奉仕委員長兼) |
| ■国際奉仕委員長 | 高瀬 一也 (SAA 兼) |
| ■会計 | 田淵 満博 |
| ■副幹事 | 秋澤 誠 |
| ■理事 | 増田 博和 |

■例会日：毎週木曜日 12:30～13:30
 ■例会場：宿毛市幸町 秋沢ホテル
 ■事務所 〒788-0003 高知県宿毛市幸町 6-43
 TEL 0880-63-3416 FAX 0880-63-3417
 URL sukumorc-test.m-quartz.com
 E-Mail sukumorc@mb.gallery.ne.jp

例会報告 第2845回 令和6年9月12日(木曜日) 天気：晴 場所：秋沢ホテル

- 例会司会：西田 SAA
- 開会点鐘：池会長
- Rソング：それでこそロータリー
- お客様：宿毛幼稚園 園長 増田仁実様
- プログラム：ゲストスピーチ

四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■会長報告 池会長

みなさんこんにちは、昨日まで残暑が厳しかったようで、体調を崩された方もいたようです。早いもので60周年迄1カ月となりました。あと一息です頑張りましょう、それに合わせて先週竹葉会員が再入会して頂きました。ありがとうございます。あと1カ月ありますので是非とも新入会や再入会のおすすめをお願いします。

■幹事報告 秋澤副幹事(代理)

中村ロータリークラブより：米山奨学生卓話合同例会案
 ガバナー事務所より：日本子ども虐待防止学会第30回学術集会所がわ大会寄付のお願い欠席届 7名

■プログラム プログラム委員会 岡崎委員長

ゲストスピーチ 宿毛幼稚園園長 増田仁実様
 皆さんこんにちは、こういう場は慣れておりませんので、ご了承ください。顔ぶれを見ましたら、大変お世話になっている方もいらっしゃると思います。先ほど紹介にありました、宿毛幼稚園園長の増田仁実です。園長になって2年目になります。園の課題というか、宿毛市にとっても考えて頂きたい現状をお話したいと思います。今月の28日の土曜日に運動会を予定しております、この暑い中熱中症対策をしながら子供と運動会に向けて頑張っております。今朝も先ほどまで走ったり、リレーの練習や綱引きの練習をしていました。やはり子供の声はいいなと思っていました。宿毛幼稚園は昭和40年の11月20日に学校法人宿毛幼稚園として設立しました。その翌年に認可が下りてスタートしました。その後平成21年2月に認定こども園としての認可をもらいまして、その年の4月に認定こども園宿毛幼稚園聖ヶ丘保育園として設立をして、ゼロ歳から5歳までの保育を担当しております。その時期に私が同園に入社して仕事を始めましたが、ゼロ歳児から5歳児まで継続をして子供の成長をつなげていくという事はとても意味があると思って、保育園・幼稚園のいい部分の一つの園で執り行う事の大事さを継続しております。平成27年4月に認定こども園宿毛幼稚園と一つの名前に統合して運営をしています。27年の11月に創設50周年の記念を盛大に行いました。その時には子供の数が宿毛ではたくさんいました。各学年が二クラスあり、一クラスが25名以上ありました。合計で200名程度の規模でしたが、今全国的にも子供の数の減少で、宿毛市も顕著に表れております。園児数の減少は、職員の数や経営においても重要なポイントになるわけです。いかに入園してもらうかを職員一同考えております。年長23名、年中9名、年少11名、幼稚園組だけで43名です。さくら組2歳児は12名、ゆり組1歳は11名、桃組ゼロ歳は5歳です。職員配置についても子供何名に対して何人と決まっていますので、余裕をもった保育士の確保はなかなか厳しいものです。職員の数に対して苦労しながら充実した職員配置をしていますが、なかなか厳しい現状です。若い働き手がない事が課題で、入りたいという子供をなかなか受け入れられない事があります。保育現場はなかなか厳しい現状です。そこに負けずに私たちは努力しておりますが、その中で追い打ちをかけるように立地の問題で利点があったのですが、宿毛保育園統合で高台に行ったため、新しい園舎に比べると少し不利になっているのではないかと考えており、やはりコロナの影響もあり園児数が急激に減少してしまいました。それプラス、四万十市からの、四万十市への通勤者、官庁などの転勤者の子供さんが入園してくれていましたが、

高速道路がついたことや官庁が四万十市に殆ど行ってしまったことが原因となり、園児減少を加速しています。しかし、「大事な部分をしっかりと自分たちが忘れずやっていけばその良さはきっと伝わっていく」という気持ちを持ち続けて努力を継続していきたいと思っています。それによりきっと質の高い保育が出来るはずで、保育士も環境の一部なので、保育士自身も質の高いものを目指すという意識をもって質の高い集団をつくらなければならないと思っています。職員に対するアンケートを取ったのですが、ほぼ100%の人がこの職場で長く働きたいという結果でした。職員が働きたい場所というのが子供にもいい影響を及ぼすことになって思っています。是非たくさんの方にうちの園を見て頂きたいと思っています。去年から待ってはいけなないと思、宿毛まつりのパレードで鼓隊参加を目指しておりましたが、残念ながら雨のために中止となりました。しかし今年はエントリーをしておりますので、是非たくさんの方々に子供たちの姿を見て頂きたいと思っています。コロナが明けてからはいつでも見て頂ける環境を整えていますのでぜひお越しください。それをきっかけに10月に入ってくるお母さんの話では、ふれあい保育に来た時に保育士の対応が良かったという入園動機があったことで、対応の大切さを再認識しました。それと夕涼み会というのがあるのですが、地域の方にも協力してもらおうという事になりました、宿毛太鼓さんや西岡さんの三味線を聞いてもらい私が踊るといものもありました。あと中村中高のダンス部さんにも来て頂いたりして、四万十市の方からもお客さんが来てくれました。様々な才能が満載された夕涼み会では感動の声が聞かれました。地域の方々にも協力して頂いたことに感謝でした。そういった交流から生まれる園児増の効果があればいいと思っております。こういった現状や何かあった時に声をかけてもらえるような体制を構築していきたいと思っておりますので、私も顔も覚えて頂ければ幸いです。今回は不安でしたが話させていただきました。是非お知り合いがいらっしゃいましたら遊びに来るだけでも結構ですので、ぜひお越しください。現在登園のスタッフはバスの運転手2名を含めて20名おります。全員で力を合わせて子供たちの生きていく力を養えるようにはぐんでいけたらと思っております。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。



■ニコニコ報告 西田 SAA なし

なし

■出席報告 西田 SAA

本日の出席率 52%